



CDアルバム『大田黒元雄のピアノ～100年の余韻～』リリース記念

青柳いづみこ・高橋悠治

レクチャーコンサート

今からちょうど100年前の1916年、音楽評論の草分け大田黒元雄のサロンでは定期的にコンサートが開催されていました。集ったのは、のちの音楽評論家・野村光一、作曲家・菅原明朗、音楽之友社の創設者・堀内敬三など、新進気鋭の音楽青年たち。大田黒は、自らピアノを弾いてフランス、ロシア、北欧、そして日本の音楽を紹介し、ドイツ音楽一辺倒だった楽壇に新風を吹きこみました。サロンのエピソードをまじえてコンサートのプログラムの一部を演奏し、洋楽黎明期の熱気を蘇らせます。

※講演後にはサイン会も予定しております。



●CDアルバム『大田黒元雄のピアノ～100年の余韻～』



収録曲：グリーグ『春に寄す』、ドビュッシー『小さな羊飼い』
ゴダール『牧神』、マクダウェル『森のスケッチ』より、スコット『詩曲』より、スクリャーピン『前奏曲』より、フォーレ『言葉なきロマンス第3番』（青柳）山田耕作『若いパンとニンフ』、プロコフィエフ『束の間の幻影』（高橋）

♪♪♪ 曲目 ♪♪♪

- ソロ グリーグ『春に寄す』
ドビュッシー『小さな羊飼い』
フォーレ『言葉なきロマンス第3番』（青柳）
山田耕作『若いパンとニンフ』
プロコフィエフ『束の間の幻影』より(抜粋)(高橋)
連弾 ラヴェル『マ・メール・ロア』



青柳いづみこ

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京芸術大学大学院博士課程修了。演奏と文筆を兼ね、ドビュッシーとフランス音楽を中心に活動を展開している。CDは12タイトル、著書は22冊。平成元年度文化庁芸術祭賞。『翼のはえた指』で吉田秀和賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞受賞。http://ondine-i.net



高橋悠治

作曲家・ピアニスト。1960年草月アートセンター1974-76年季刊誌「トランソニック」1978-85年「水牛楽団」「月刊・水牛通信」以来は作曲・演奏・即興で少数の協力者と活動を続ける。
http://www.suigyu.com/yuji
著書：『高橋悠治/コレクション 1970年代』（平凡社）
『音の静寂静寂の音』（平凡社）
『きっかけの音楽』『カフカノート』（みすず書房）

日時：2016年9月19日(月・祝) 開場 13:50 開演 14:00

会場：スガナミ楽器町田店 2F ハーモニーホール

東京都町田市中町 1-1-13 TEL042-722-3458

入場料：会員 3,000円 一般 3,500円 ※クレッシェンド会員無料 ※PTNAピアノセミナー対応

◆お問合せ…スガナミ楽器町田支店(高橋) TEL042-722-2910 takahashi-n@suganami.com

◆9/19 青柳いづみこ・高橋悠治 レクチャーコンサート 申込書◆ FAX：042-722-3792

ふりがな		会員種別	<input type="checkbox"/> 会員 (スガナミ FC・PTNA 町田支部)
氏名			<input type="checkbox"/> 一般
住所	〒	e-mail	
		TEL	
		FAX	

★新リリース CD アルバム★

『大田黒元雄のピアノ～100年の余韻～』

収録曲：グリーグ『春に寄す』、ドビュッシー『小さな飼い』
 ゴダール『牧神』、マクダウェル『森のスケッチ』より、
 スコット『詩曲』より、スクリャーピン『前奏曲』より、
 フォーレ『言葉なきロマンス第3番』（青柳）
 山田耕作『若いパンとニンフ』、
 ブロコフィエフ『束の間の幻影』（高橋）



青柳いづみこ著 書籍

- 『ショパンに飽きたら、ミステリー』（創元ライブラリー）
- 『水の音楽～オンディーヌとメリザンド』（みすず書房）
- 『双子座ピアニストは二重人格？～音をつづり、言葉を奏でる』（音楽之友社）
- 『ハカセ記念日のコンサート』（増補版）（ショパン）
- 『青柳瑞穂の生涯 真贋のあわいに』（平凡社ライブラリー）
- 『翼のはえた指 評伝安川加壽子』（白水Uブックス）
- 『ボクたちクラシックつながり ピアニストが読む音楽マンガ』（文春新書）
- 『ドビュッシー 想念のエクトプラズム』（中公文庫）
- 『六本指のゴルトベルク』（中公文庫）
- 『指先から感じるドビュッシー』（春秋社）
- 『ピアニストが見たピアニスト～名演奏家の秘密とは』（中公文庫）
- 『無邪気と悪魔は紙一重』（文春文庫）
- 『音楽と文学の対位法』（中公文庫）
- 『我が偏愛のピアニスト』（中央公論新社）
- 『モノ書きピアニストはお尻が痛い』（文春文庫）
- 『水のまなざし』（文藝春秋社）
- 『ピアニストは指先で考える』（中公文庫）
- 『グレン・グールド 未来のピアニスト』（ちくま文庫）
- 『ドビュッシーとの散歩』（中央公論新社）
- 『アンリ・バルダ 神秘のピアニスト』（白水社）
- 『ピアニストたちの祝祭』（中央公論新社）
- 『どこまでがドビュッシー？』（岩波書店）



CD

- 『眠れない夜に聴く ミステリー・クラシック』
- 『ミンストレル』
- 『ドビュッシーの神秘』
- 『ロマンティック・ドビュッシー』
- 『天使のピアノ』
- 『ドビュッシーの時間』
- 『やさしい訴え ～ラモー作品集～』
- 『浮遊するワルツ』
- 『水の音楽～オンディーヌとメリザンド～』
- 『青柳いづみこ ドビュッシー・リサイタル II』
- 『雅びなる宴 ～クーラン、ドビュッシー作品集』
- 『青柳いづみこ ドビュッシー・リサイタル』

